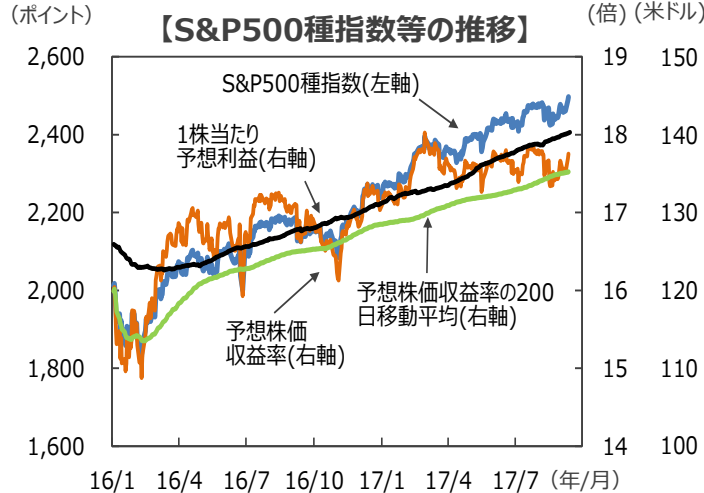


今日のトピック **米国株式市場の見通し**

**トランプ政権への期待と燻る不透明感**

**ポイント1 S&P500種指数は2日続けて史上最高値更新**  
トランプ政権による税制改正に期待

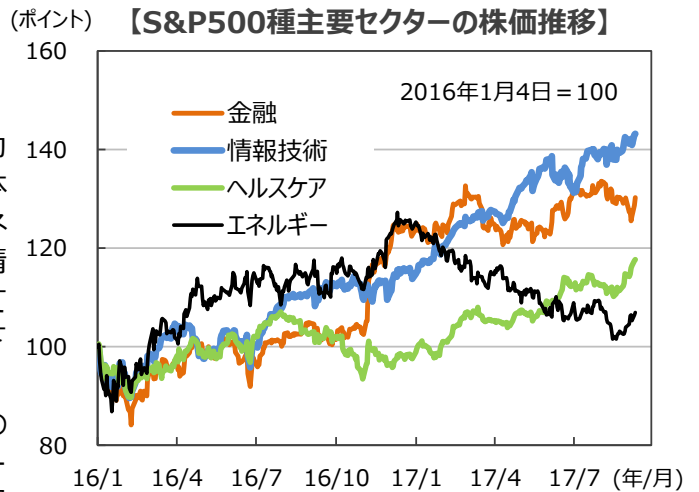
- 12日の米国株式市場は、S&P500種指数が前日比+0.34%の2,496.48と2日続けて史上最高値を更新しました。NYダウ工業株30種が同+0.28%の22,118.86ドル、ナスダック総合指数が同+0.34%の6,454.28といずれも史上最高値を更新しました。
- 12日は、国連安全保障理事会で北朝鮮への追加制裁が決議され、地政学リスクがひとまず落ち着いたことで市場に安心感が広がりました。また、トランプ政権による税制改正実現に向けた取り組みに対する期待も強まったと考えられます。
- 一方、世界景気の拡大に伴って、S&P500種指数の1株当たり予想利益は堅調に推移しています。また、予想株価収益率は200日移動平均線付近で推移しており、過熱感はありません。



(注1) データは2016年1月4日～2017年9月12日。  
(注2) 1株当たり予想利益は12カ月先予想（Bloomberg L.P.予想）。  
予想株価収益率 = 株価 ÷ 1株当たり予想利益（倍）。  
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

**ポイント2 主要セクターの株価は堅調**  
堅調な業績が後押し

- 12日のS&P500種指数の主要セクターの株価動向は、金融セクターが前日比+1.2%と指数全体の上昇をけん引しました。最近は、ヘルスケアやエネルギーセクターも上昇基調に転じています。また、情報技術セクターは16年以降堅調な推移が続いており、7月以降の調整局面の中では指数全体を下支えしました。
- 業績は、情報技術セクターが堅調です。2017年の情報技術セクターの予想増益率（トムソンロイター調べ9月12日）は前年比+14.2%と、7月の同+12.2%から上方修正されています。S&P500種も同+11.5%（7月同+11.4%）と堅調ですが、これを上回る上方修正です。



(注) データは2016年1月4日～2017年9月12日。  
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。

**今後の展開**

## 経済、企業業績は好調で、株式市場は堅調に推移する見通し 今後のイベントに注意

- 株式市場は、経済、企業業績の好調さが維持される中、北朝鮮情勢やハリケーン（イルマ）を巡る緊張が緩和されたことから堅調さを取り戻す流れが続くようです。
- 当面は、トランプ政権の税制改正実現に向けた動きを確かめることになりそうです。
- また、年末までの主なイベントを見ると、12月は連邦債務法定上限の引き上げの期限や暫定予算の期限が控えるなど、政治が混迷するリスクは残ります。また、北朝鮮がこれまで以上の軍事的挑発に踏み切る可能性が残っていること等から、不透明感は燻っています。今後のイベントには引き続き注意が必要です。

### 【当面の米国の主なイベント】

米国			(参考) 中国・北朝鮮	
	日	イベント	日	イベント
2017年				
9月	19-20日	FOMC（経済見通し発表、FRB議長会見）	9日	（北朝鮮）建国記念日
10月	12-13日	G20財務相・中央銀行総裁会議（ワシントン）	10日	（北朝鮮）朝鮮労働党創立記念日
	月中	FRB議長候補を大統領が指名する可能性	11日	（中国）中国共産党第18期中央委員会第7回全体会議（七中全会）
	31-11月1日	FOMC	月中	（中国）中国共産党第19期中央委員会第1回全体会議（一中全会）
12月	8日	連邦債務法定上限引き上げ期限	17日	（北朝鮮）金正日総書記命日
	12-13日	FOMC（経済見通し発表、FRB議長会見）		
	14日	下院会期末	27日	（北朝鮮）憲法記念日
	15日	上院会期末		
2018年				
1月	1月上旬	上・下院開会	8日	（北朝鮮）金正恩朝鮮労働党委員長誕生日
	月中	一般教書演説		
	30-31日	FOMC		
2月	3日	イレンFRB議長任期	16日	（北朝鮮）金正日総書記誕生日
	月中	予算教書提出	月中	（中国）中国共産党第19期中央委員会第2回全体会議（二中全会）
3月	20-21日	FOMC（経済見通し発表、FRB議長会見）	月中	（中国）第13期全国人民代表大会第1回全体会議

（注）2017年9月13日現在。FOMCは米連邦公開市場委員会。（出所）各種報道などを基に三井住友アセットマネジメント作成

**ここも  
チェック!**

**2017年9月 4日 増勢を保つ米国の雇用統計（2017年8月）**  
**2017年8月30日 堅調を維持する米国の社債市場（2017年8月）**

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。